

か やくそくわす  
交わした約束忘れないよ

め と たし  
目を閉じ確かめる

お よ やみ ふ はら すす  
押し寄せた闇 振り払って進むよ

みらい  
いつになったらなくした未来を

わたし み  
私ここでまた見ることできるの？

あふ だ ふあん かげ なんと さ  
溢れ出した不安の影を何度でも裂いて

せかいあゆ  
この世界歩んでこう

きざ とき いまはじ つ  
とめどなく刻まれた 時は今始まり告げ

か おも  
変わらない思いをのせ

と とびらあ  
閉ざされた扉開けよう

め ざ こころ はし だ みらい えが  
目覚めた心は走り出した未来を描くため

むずか みち た ど  
難しい道で立ち止まっても

そら あお ま  
空はきれいな青さでいつも待っててくれる

こわ  
だから怖くない

なに くじ  
もう何があっても挫けない

ふ かえ な か ま  
振り返れば仲間がいて

き やさ つつ  
気がつけば優しく包まれてた

なに ゆが せかい  
何もかもが歪んだ世界で

ゆいつしん すく  
唯一信じれるここが救いだった

よろこ かな つよ おも  
喜びも悲しみもわけあえば強まる想い

こえ とど  
この声が届くのなら

き せ き  
きっと奇跡はおこせるだろう

か やくそくわす  
かわした約束忘れないよ

め と たし  
目を閉じ確かめる

お よ やみ ふ はら すす  
押し寄せた闇 振り払って進むよ

おお かべ  
どんなに大きな壁があっても

こ  
越えてみせるからきっと

あしたしん いの  
明日信じて祈って

こわ せ かい さ ま よ わたし  
壊れた世界で彷徨って私は

ひ よ たど つ  
引き寄せられるように辿り着いた

め ざ こころ はし た みらい えが  
目覚めた心は走り出した未来を描くため

むずか みち た ど  
難しい道で立ち止まっても

そら あお ま  
空はきれいな青さでいつも待っていてくれる

こわ  
だから怖くない

なに くじ  
もう何があっても挫けない

あしたま  
ずっと明日待って

かわしたやくそくわすれないよ  
交 約束忘

めをとじたしかめる  
目 閉 確

おしよせたやみふりはらってすすむよ  
押 寄 闇 振 払 進

いつになったらなくしたみらいを  
未来

わたしここでまたみることできるの?  
私 見

あふれだしたふあんのかげをなんどでもさいて  
溢 出 不安 影 何度 裂

このせかいあゆんでこう  
世界歩

とめどなくきざまれたときはいまはじまりつげ  
刻 時 今始 告

かわらないおもいをのせ  
変 思

とざされたとびらあけよう  
閉 扉開

めざめたころははしりだしたみらいをえがくため  
目覚 心 走 出 未来 描

むずかしいみちでたちどまっても  
難 道 立 止

そらはきれいなあおさでいつもまってくれる  
空 青 待

だからこわくない  
怖

もうなにがあってもくじけない  
何 挫

ふりかえればなかまがいて  
振 返 仲間

きがつけばやさしくつつまれてた  
気 優 包

なにもかもがゆがんだせかいで  
何 歪 世界

ゆいつしんじれるここがすくいだった  
唯一信 救

よろこびもかなしみもわけあえばつよまるおもい  
喜 悲 強 想

このこえがとどくのなら  
声 届

きっときせきはおこせるだろう  
奇跡

かわしたやくそくわすれないよ  
交 約束忘

めをとじたしかめる  
目 閉 確

おしよせたやみふりはらってすすむよ  
押 寄 闇 振 払 進

どんなにおおきなかべがあっても  
大 壁

こえてみせるからきっと  
越

あしたしんじていのって  
明日信 祈

こわれたせかいでさまよってわたしは  
壊 世界 彷徨 私

ひきよせられるようにたどりついた  
引 寄 辿 着

めざめたころははしりだしたみらいをえがくため  
目覚 心 走 出 未来 描

むずかしいみちでたちどまって  
難 道 立 止

そらはきれいなあおさでいつもまってくれる  
空 青 待

だからこわくない  
怖

もうなにがあってもくじけない  
何 挫

ずっとあしたまって  
明日待